

信濃毎日新聞

1873年(明治6年)創刊
 発行所
 信濃毎日新聞社
 長野本社 〒380-8546
 長野市南泉町 657番地
 電話(026)
 受付 236-3000 編集 236-3111
 販売 236-3310 広告 236-3333
 松本本社 〒399-8711
 松本市宮田 2番10号
 電話(0263) 編集 25-2151
 販売・広告・事業 25-2153
 ©信濃毎日新聞社 2015年

7月9日(木)

県内産の牛肉、豚肉、鶏肉を使ったさまざまな料理が味わえる「信州肉の祭典」は24日から3日間の日程で、山形村の商業施設「アイシティ21」北側駐車場で開催。松本市内の若手経営者らでつくる実行委員会が「肉を切り口にしたいこれまでにない催しで地域を盛り上げよう」と初めて企画。県内産食肉の認知度を高め、地産地消にも一役買いたいと張り切っている。

県内産の牛・豚・鶏 料理存分に

「肉の祭典」開催へ

山形・アイシティで24日から

野産の放牧豚や信州ハープ地鶏の炭火焼きなど1店1品を販売する。価格は1品千円前後を予定。酒類など飲み物も販売し、テーブルと椅子を並べた飲食スペースも設ける。

実行委員長を務める百貨店井上(松本市)の井上博文常務執行役員(41)は「信州産の肉のおいしさを知ってもらい、消費拡大のきっかけにしたい。今後も継続して大きな催しに育てたい」と話す。3日間とも午前11時から午後7時まで。問い合わせはアイシティ21(☎02603・98・4521)へ。



ポスターを手に催しをPRする出店業者と実行委員